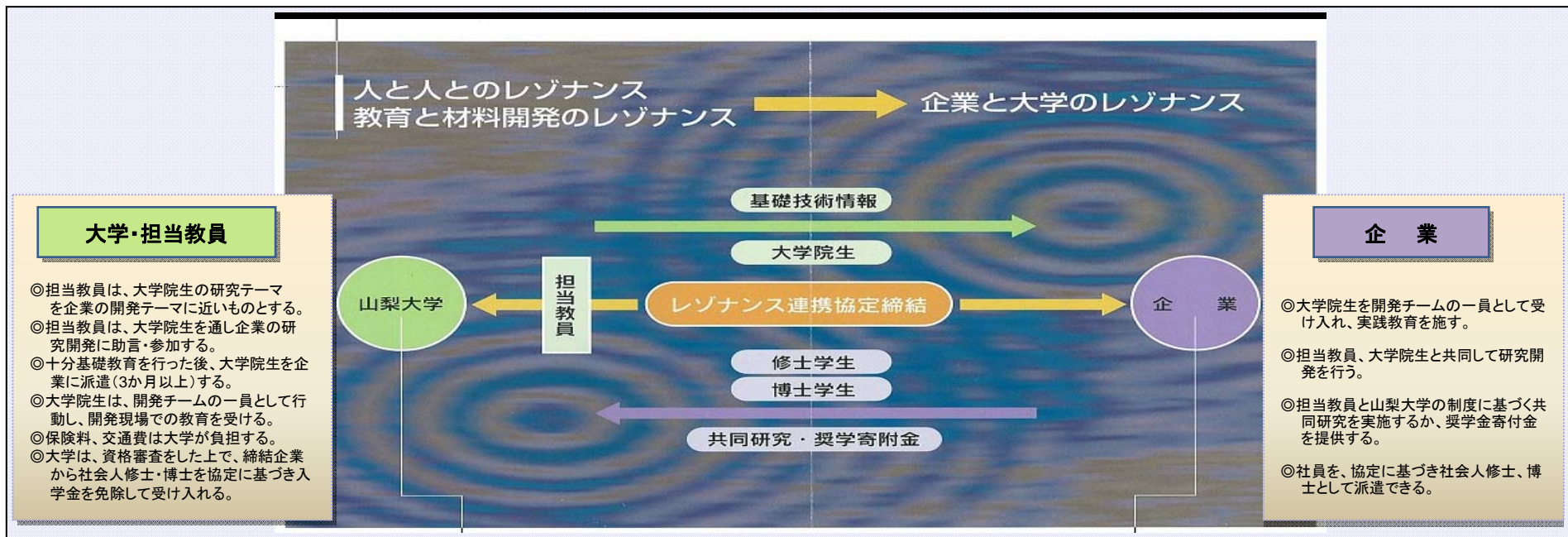


山梨大学

取組名称:「レゾナンス連携」協定に基づく人材育成

【取組概要】

文部科学省「派遣型高度人材育成協同プラン」に採択された「教育・研究レゾナンス連携協定に基づく人材養成プログラム」は、企業と山梨大学が「教育・研究レゾナンス連携」協定を締結し、研究分野や企業活動等において中核的役割を果たす「高度専門人材」の育成を目的とすると同時に、企業と大学が相互に共鳴(レゾナンス)して、互いに高め合い、発展することを期すものです。



【成果等】

従来からの共同研究が担当教員の研究室で実施されていたのに対し、この協定に基づく共同研究では十分な基礎教育を受けた大学院生が3か月以上の期間企業に赴き研究を実施することに特徴があります。これまでの就業体験などを目的としたインターンシップとは異なり、教育と研究による社会貢献が一体化した制度です。

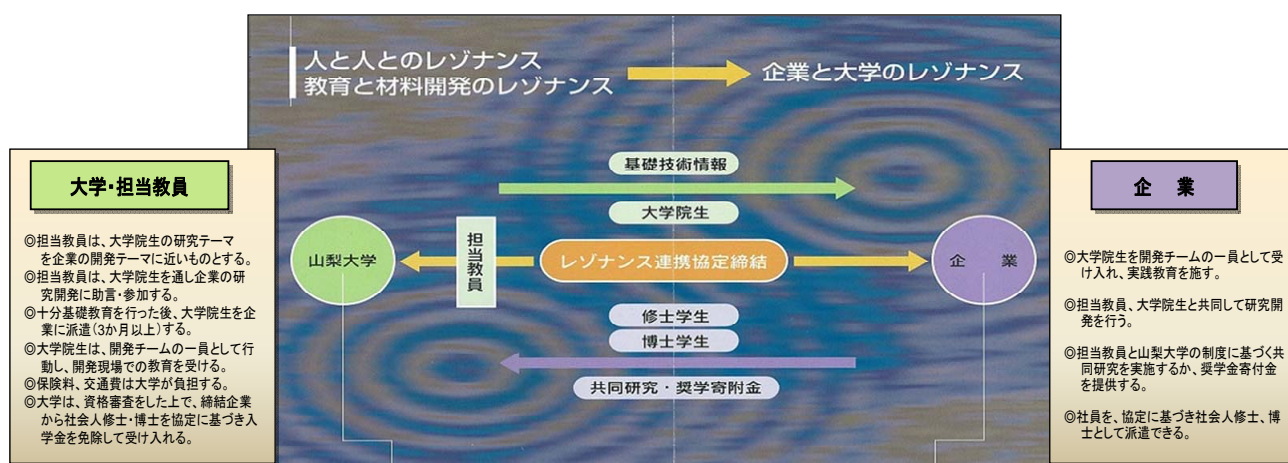
これにより学生は、企業活動全体の中で自分の専門の位置づけを理解し、現実の中から問題設定を行ったりするなど、現実社会の中で必要となる「能力」を養うことができます。一方企業では、現場で共同研究が実施されますので、これまで以上に効果的、効率的に研究を進めることができます。

産学連携による実践型人材育成事業 ー長期インターンシップ・プログラム開発ー
最終評価結果

大 学 名	山梨大学
教育プロジェクト名称	「レゾナンス連携」協定に基づく人材育成
事業責任者	医学工学総合研究部 教授 木野村 暢一（※平成21年度定年退職） 医学工学総合研究部長 豊木 博泰

事業概要

文部科学省「派遣型高度人材育成協同プラン」に採択された「教育・研究レゾナンス連携協定に基づく人材養成プログラム」は、企業と山梨大学が「教育・研究レゾナンス連携」協定を締結し、研究分野や企業活動等において中核的役割を果たす「高度専門人材」の育成を目的とすると同時に、企業と大学が相互に共鳴（レゾナンス）して、互いに高め合い、発展することを期すものです。



最終評価結果

(総合評価) A: 所期の計画と同等の取組が行われた

コメント

《優れた点》

1. 地域振興を目指す一環として、対象企業を中小企業主体とした、地域の特徴を踏まえた連携は、地域の人材を育成するという地方大学として重要なミッションにマッチしたものと評価する。
2. 企業との共同研究をテーマに組み込むインターンシップであり、履修者のインセンティブや企業側の評価も高く、全体として有効裡に進められたと評価できる。

《改善を要する点》

1. 企業との共同研究の中から修士論文のテーマを選定した方式は、上述の長所を有する反面、履修者の人数が絞られ、拡大し難い短所がある。当学の強い無機材料関連を突破口に、今後他領域へのテーマの拡大を図ることが履修者数及び対象企業数の各々の増加に繋がる。どう継続するかを含め、今後改善すべきポイントである。